

4. パラサイトシングル女性のいま

(1) 自分の楽しみのための支出は控えめ

未婚で親と同居する「パラサイトシングル」は、かつては、親と同居することで経済的に余裕のある消費生活を送るというイメージがあったが、むしろ近年ではそうした余裕がなくなっているという指摘もある。では、現在のパラサイトシングルたちはどうだろうか。ここでは、親と同居している未婚女性(24~28歳)に注目し、5年前(2008年)と今回(2013年)の消費生活の状況を比べてみた。

9月一ヵ月の手取り収入(収入があった者に限定)は、5年前は平均16万0千円であったが、今回は15万7千円とやや減少している。消費(一ヵ月あたりの支出)は、5年前の平均10万5千円から9万3千円に減少しており、手取り収入に占める割合でも低下している。また、支出のうち、自由裁量支出(「衣類・はき物」「教養・娯楽」「交際」の合計)に注目すると、5年前の平均4万5千円から3万6千円に減少しており、こちらも手取り収入に占める割合が低下している(図表4-1)。

雇用環境の見通しが明るくない中で、パラサイトシングルの女性たちの収入は伸びておらず、ファッションや交際費などの支出も含め支出総額が抑えられていることがわかる。

図表4-1 パラサイトシングル女性の消費——2008年と2013年

		2008年 (292人)	2013年 (312人)
手取り収入(9月)		16万0千円	15万7千円
支出計(9月)	平均	10万5千円	9万3千円
	手取りに占める割合	67.6%	64.5%
自由裁量支出	平均	4万5千円	3万6千円
	(収入ありの人)手取に占める割合	30.3%	25.4%

(2) きっちり貯蓄の堅実型

次に、パラサイトシングル女性の貯蓄についてみてみよう。

(1) でみたように、手取り収入はやや減少し、支出を減らしているため、一か月あたりの貯蓄額は、2008年の平均4万4千円から5万2千円に増加している。また、9月に手取りからの貯蓄額がゼロという人の割合は、2008年は40.1%、2013年では33.2%に減少している。5年前に比べて、現在のパラサイトシングルの女性は月々の貯蓄をしているという人が増え、貯蓄している人ではその金額も増えていることがわかる。

なお、家にお金を入れている人の割合は、2008年の61.4%から55.9%にやや減少しているが、半数以上は家にお金を入れている。また、入れているお金の平均額もわずかながら上昇している。

このように、現在の親と同居の未婚女性は、家にお金も入れながらも、月々の収入から少しでも貯蓄にまわそうという堅実な姿勢で生活を営んでいることがうかがえる。しかもその傾向は、5年前と比べても強まっているようである。

図表 4-2 パラサイトシングル女性の貯蓄

	2008年 (292人)	2013年 (312人)
貯蓄額(9月) [※]	4万4千円	5万2千円
9月に貯蓄した額がゼロの人の割合	40.1%	33.2%
家にお金を入れている人の割合	61.4%	55.9%

※ゼロを除いた平均